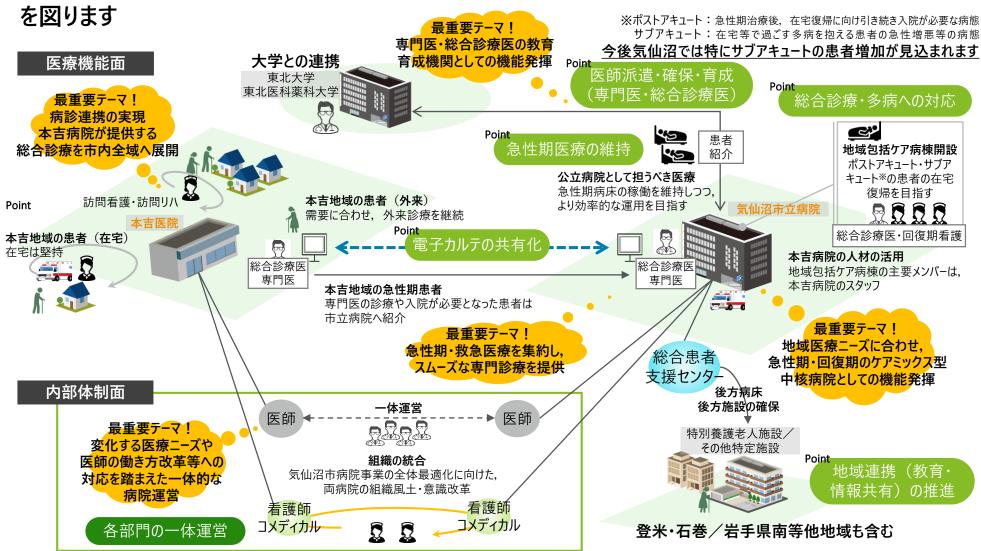


気仙沼市病院事業 経営強化プラン作成に向けて

気仙沼市病院事業のこれからの展望

少子高齢化の進展により変化する医療ニーズや医師の働き方改革等の医療政策へ対応するため, 医療機能を再編し、機能分化・連携強化を進めることで、持続可能な地域医療提供体制の確保



経営強化プランの構成は、以下の内容を記載する予定です

経営強化プランの構成(案)

章	タイトル	各章の記載内容	記載概要
_	はじめに		• 本計画に対する事業管理者からのコメント
1	経営強化プラン策定の背景	1. これまでの経営計画の経過2. 経営強化プランの策定目的3. 経営強化プランの対象期間4. 経営強化プランの進行管理	前計画の経過及び公立病院に経営強化プランが求められる背景経営強化プランの対象期間はR6~R9年度の4年とする
2	気仙沼市病院事業を取り巻 く環境	1. 地域の状況 2. 病院の概要と沿革 3. 病院の決算状況	病院事業を取り巻く外部環境、内部環境の分析資料2病院の決算の推移
3	気仙沼市病院事業が目指 す医療提供体制	1. 気仙沼市病院事業局が目指す姿 2. ビジョン実現に向けた重点取組課題	当事業局が目指す姿及び重点取組課題市立病院と本吉病院の病床再編のイメージ
4	役割・機能の最適化と連携 の強化	1. 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能2. 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能3. 機能分化・連携強化4. 医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標	R6年度以降の機能別の病床数や,近隣の病院や地域の診療所,介護事業者との連携における課題と取組数値目標を設定
5	医師・看護師等の確保と働 き方改革	1. 医師・看護師・医療技術職の確保に向けた取組 2. 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保 3. 医師の働き方改革への対応	医師、看護師、医療技術職の確保に向けた課題と取組医師の働き方改革に向けた重点取組
6	経営形態の見直しについて		• 今後検討しうる経営形態の一覧
7	新興感染症に対する平時か らの対策・取組	1. 新型コロナウイルス感染症対応における課題 2. 新興感染症(新型コロナウイルス等)に対する取組	• 新型コロナウイルス感染症における取組課題と今後の平時からの取組内容
8	施設・設備の最適化	1. 施設・設備の適正管理と整備費の抑制 2. デジタル化への対応	• 施設,設備の更新,改修計画及びデジタル化を検討している内容
9	経営の効率化に向けた取組	1. 収支計画 2. 収支計画達成に向けた指標とアクションプラン	上記取組を踏まえた収支計画及び収支計画の達成に向けた数値目標 けた数値目標 けた数値目標 の達成に向 けた数値 の達成に向 の は の は の は の は の は の は の は の は の は の

地域医療構想を踏まえ、持続可能な医療提供体制を確保するため、病院事業が行うべき役割・機能は以下のとおりです

地域医療構想を踏まえた気仙沼市病院事業の役割・機能

プラン 構成	今後果た 役割・機	きしていくべき 能	現状	病院事業の考え	課題
3章 4章	公立病院と して担うべき 医療の強	①小児・周産 期等の政策 医療	• 分娩件数が年間300件を下回っている	・小児医療・周産期医療の堅持・特に分娩機能と小児科医2名態勢を維持	• 今後も分娩件数や子供の数が増える見込み が低い
	化・維持	②中核病院と しての急性 期医療・救 急医療	市内唯一の急性期病院で、2.5次救急まで対応している市内の救急搬送に対する応需率はとても高く、当番医・救急看護師の負担が大きい	・2.5次までの救急医療を継続・急性期病院としての医療水準を維持し、経営のバランスも考えた稼働・回転を実現・本吉病院で受け入れていた在宅急性増悪患者にも対応・1次救急、コンビニ受診を抑制	住民に対して当院の役割を周知する情報発信力の強化在宅急性増悪患者の受入れ意識の再構築(市立と本吉での役割分担)急性期病床の稼働・回転を維持するためにも、各職種の更なる意識向上が必要
	多病を抱え た患者への 対応	③総合診療 機能の強化	本吉病院で総合診療を提供している本吉病院に総合診療を学びたい医師が 研修に訪れている	総合診療医による地域包括ケア病棟の運営及び総合診療外来の開設総合診療医を目指す医師の確保と育成の実践	・総合診療医の確保に向けた研修・育成環境が整っていない ・専門医との役割分担を明確にし、協力・理解を得ていく必要がある
		④地域包括ケ ア病棟の新 設	•市立病院では地域包括ケア病棟の新設 に向けた準備を進めている	・サブアキュ−ト患者への対応 ・在宅復帰を目指す患者の受け皿とし ての病床を設置し、専門医の負担 軽減と総合診療医の活躍を実現	・コロナ禍において、地域包括ケア病棟の届出に向けた実績要件整備等の進捗が芳しくない・サブアキュート患者への受入れルール等が整備されていない
	⑤在宅医療の 展開	の市内全域への	・本吉病院は主に本吉地域に提供している・気仙沼、唐桑地域は開業医が提供している	在宅診療に必要な医師、看護師の 育成を図りつつ、在宅医療を提供し ている開業医との連携の下、段階 的に、市内全域へ展開	在宅診療のノウハウが病院事業全体で共有されていない
	⑥気仙沼市の将来を見据えた 医療介護連携のHUB機能		・本吉病院は地域の介護事業所と患者 情報を共有し、円滑な連携を図っている	•介護事業所との情報連携,患者情報を共有できる仕組みを整備	ケアマネジャーの他に、急性期・回復期の受け 皿となる施設系サービスとの情報連携が必要

今後果たしていくべき役割・機能の課題解決に向けた検討事項案は以下のとおりです

果たすべき役割・機能の課題解決に向けた検討項目(案)

プラン 構成	今後果たしていくべき役割・機能	経営強化プラン策定にあたっての検討事項
3章 4章	公立病院として担うべき医療の強化・ 維持	市内唯一の総合病院として、地域の診療所と連携の充実を図るための手段・方法 また上記を達成するにあたっての組織体制等における課題
		• 医師の働き方改革の対応も含め,急性期病床を効率的に運用するための手段・方法
		• 医療資源の適切な活用について,予防の観点も踏まえた地域住民への働きかけ
多病を抱えた患者への対応 ・ 地域包括ケアの視点に立		•地域包括ケアの視点に立ち、当院の回復期医療で求められる医療の内容と実現するための手段・方法
		• 東北大学病院,石巻赤十字病院等の高度急性期病院との連携の在り方
		• 在宅療養後方支援病院として、地域の診療所と連携の充実を図るための手段・方法
		• 市立病院で総合診療を展開していくにあたって、専門診療科と総合診療科の連携体制
		• 地域包括ケア病棟を適切かつ効率的に運用するための手段・方法
		•回復期機能の充実に向け、各部署が考える重点取組や課題、またそれらを推進、解決するための手段・方法
• 総合診		• 総合診療医の教育・育成体系の構築
	在宅医療の市内全域への展開	• 在宅医療の市内全域への展開に向けて取り組まねばならない課題と解決するための手段・方法
	気仙沼市の将来を見据えた医療介護 連携のHUB機能	• 急性期の受皿となる介護施設系サービスや地域のケアマネジャーとの連携強化を図るための手段・方法

経営強化プランでは以下の視点についても求められています

経営強化プラン策定に向け関連部署と相談が必要となる項目・論点

プラン 構成	項目	論点
5章	• 医師・看護師等の確保と働き方改革	・ 東北大学からの医師派遣・ 東北医科薬科大学の東北地域医療支援修学資金枠卒業生の受入れ
		• 気仙沼市が独自で設けている「修学奨学金制度」「奨学金返還支援金制度」の活用
		• 看護師, リハビリテーション技師等のコメディカルの確保
6章	• 経営形態の見直し	地方公営企業法全部適用に変更したばかりであり、その効果を検証する必要があるため、計画期間内の見直しは予定していない
7章	• 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組	• 新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた、当院の新興感染症に対する方針
		感染症の知識と経験を持った人材の確保 感染症禍における病院経営
		・ 感染予防,防疫対策に必要な設備・物品の確保
8章	• 施設・設備の最適化	医療機器, 医療システム (更新分) (更新分)
		医療機器, 医療システム (新規分)